

供覧症例1・乳腺腫瘍穿刺 -intracytic papilloma-

女性：36歳

右CD領域に1.5cmの腫瘍あり 乳頭分泌物みられる

【細胞像】

背景に出血とfoam cellを少数認める中に、大型の細胞集塊が見られる。広い血管結合組織を芯とした樹枝状の間質に、結合性の強い上皮性の細胞が配列している。上皮細胞はN/C比高く重積性も強く、軽度の核形不整も見られるが、フォーカスをずらすことにより集塊の中に少数ではあるが筋上皮細胞が認められる。拡張した乳管内の強い細胞増生が考えられintracystic(ductal) papillary tumorが考えられるが、intracystic(ductal) papillary carcinomaにも少数の筋上皮細胞が観察されることもあり、鑑別が難しく「鑑別困難」の判定が許容される。

【病理組織像】

乳管内の病変で、毛細血管を持つ太い茎を伴って乳頭状に増生する像や、乳管上皮細胞の重層化した過形成を認める。乳管上皮細胞の下層には淡明な細胞質を有する筋上皮細胞が見られ、二相性構造を認める。

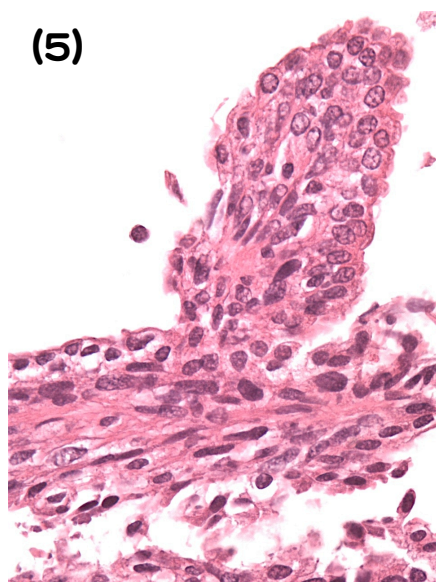
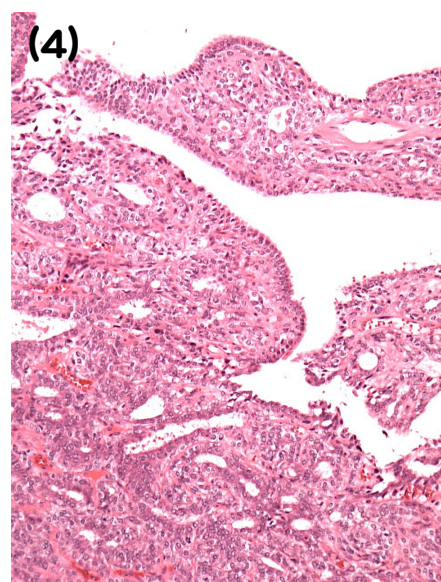
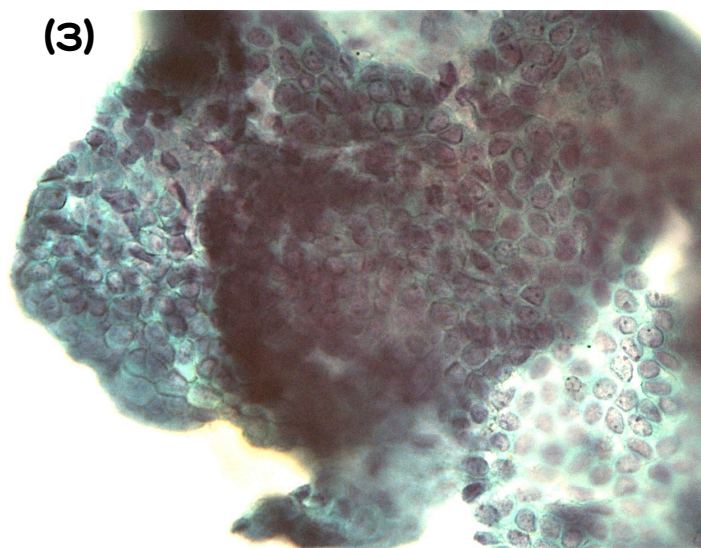
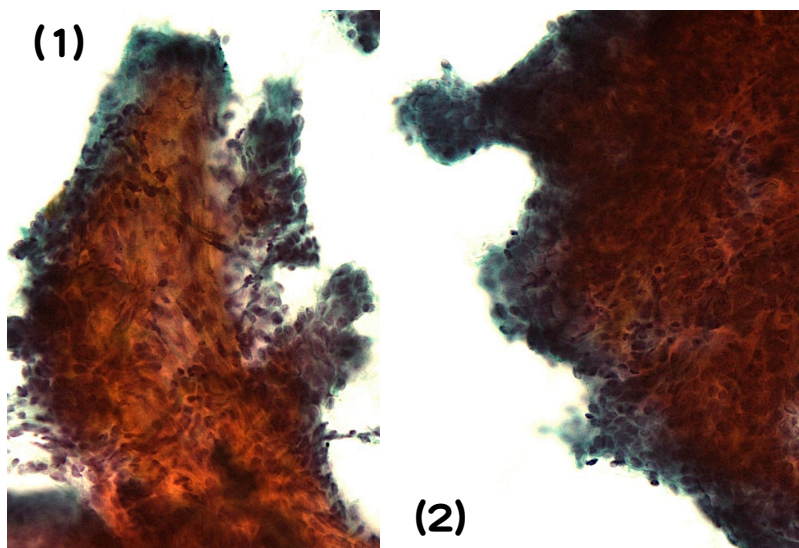


写真1,写真2：腫瘍穿刺直接塗抹標本

Pap染色 ×20

写真3：腫瘍穿刺直接塗抹標本

Pap染色 ×40

写真4：組織標本

HE染色 ×10

写真5：組織標本

HE染色 ×40